

里山コンサート

小鳥がさえずり、カエルが合唱し、夜にはホタルが飛びかう里山。
そこは、自然と人のくらしが一体となって維持されている日本の原風景。

里山の美しさや魅力は、昔なつかしい唱歌などの中に、
いろいろな形で織りこまれています。

その魅力を、ピアノとヴァイオリンの演奏とともに歌と踊り、
お話とスライド映像でお伝えします。



日時：2010年4月16日（金）午後6時30分開場、7時開演

会場：文京シビック小ホール

主な出演者：山口由里子（ソプラノ）、本庄篤子（ヴァイオリン）、
坂田晴美（ピアノ）、樋口晴美（踊り）、樋口広芳（お話）

主な曲目：故郷、夏は来ぬ、朧月夜、さくら、早春賦など

参加費：1,500 円

主催：里山コンサート実行委員会

（事務局電話 049-261-7859、電子メール emimori@hum.u-bunkyo.ac.jp）

申込方法：電話または電子メールで上記実行委員会の事務局へ。支払いは当日
受付で。

♪ 主な出演者プロフィール ♪



山口由里子

東京藝術大学卒業。ソプラノ歌手。二期会オペラ研修所マスターおよびプロフェッショナルコース終了後、ウィーンにてスーザン・デニス、ヴォルフガング・ガブリエル両氏のもとで研鑽を積む。第17回国際ニコドスタルオペレッタコンクール、ファイナリスト。第15回日本声楽コンクール入選。これまでに「カルメン」ミカエラ、「魔笛」侍女Ⅱ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「リゴレット」ジルダなど、数多くのオーケストラでソリストを務める。桐朋芸術短大演奏助手。二期会会員。



本庄 篤子

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。在学中よりNHK「新人演奏会」、NHK・FM出演。毎年、銀座王子ホールにてリサイタル・室内楽の演奏会を開催。国内オーケストラと数々の協奏曲を共演。東京ゾリステンコンサートマスターとして、国内外で多数のコンサートに出演。86年より(財)ニューフィル千葉のコンサートマスターを務めるほか、リマト室内合奏団コンサートマスター、ソリストとしても演奏活動を続けている。2000年度千葉県文化功労受賞。



坂田 晴美

桐朋学園大学短大ピアノ科卒業。同研究科修了。故井口愛子、兼松雅子、及び声楽伴奏を戸田敏子の各氏に師事。現在、桐朋学園大学短期大学部講師。同大学附属「子供のための音楽教室」講師。そのほか数多く声楽のコンサートの伴奏で活躍。



樋口 晴美

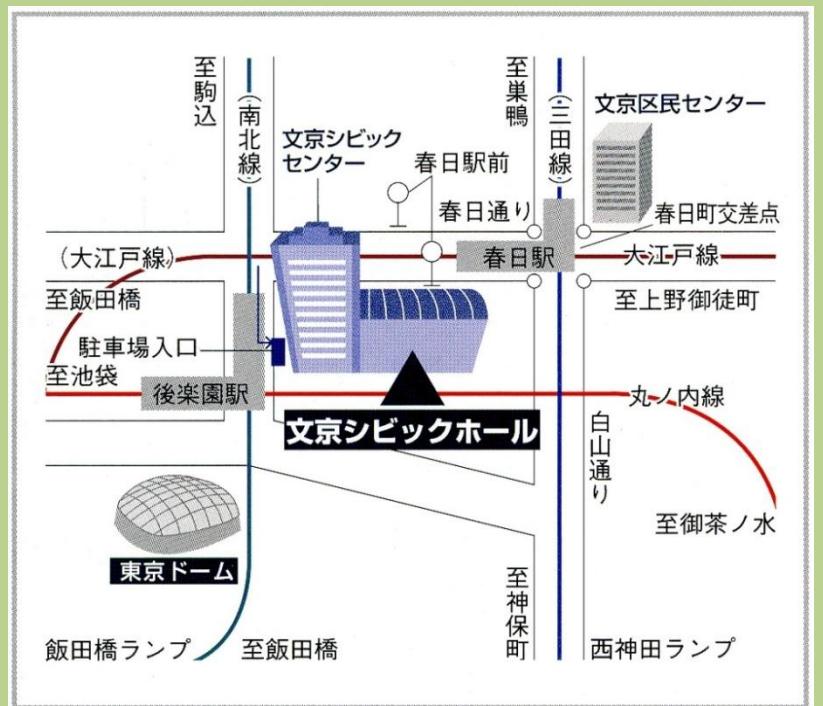
20代後半にクラシックバレエからフラメンコ舞踊に転向。通算16年間、スペインに滞在。フラメンコだけでなく、さまざまな舞踊に関心をもつ。主な活動としては、「樋口晴美フラメンコの夕べ」(神奈川県民ホール)、「樋口晴美の創作舞踊「雪女」」(東京・草月ホール)、「カマロン追悼公演」(スペイン・サンフェルナンド)、「樋口晴美フラメンコリサイタルーカマロンに捧ぐー」(草月ホール)など。現在、横浜赤い靴記念文化事業団「あかいくつスタジオ」などで教授活動を行なう。



樋口 広芳

東京大学大学院博士課程修了。米国ミシガン大学動物学博物館客員研究員などを経て、現在、東京大学大学院教授。主著「鳥の生態と進化」、「鳥たちの生態学」(朝日新聞)、『湿地と生きる』(共著、岩波書店)、「カラス、どこが悪い!？」(共著、小学館)、「鳥たちの旅」(NHK出版)、「生命(いのち)にぎわう青い星」(化学同人)など。日本鳥学会「鳥学研究賞」、国立公園協会「田村賞」、山階鳥類研究所「山階芳麿賞」などを受賞。

会場案内



交通アクセス 東京メトロ丸の内線・南北線 後樂園駅より徒歩3分、都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅より徒歩3分、JR中央線・総武線 水道橋より徒歩8分

企画・構成: 樋口広芳、酒井すみれ

編曲: 松浦一生、一色知希

写真提供: 時田賢一、片岡弘司ほか

鳥声提供: 松田道生

司会: 小島華織

舞台監督: 和田知彦

実行委員会事務局(問合せ先): 森下英美子

(電話 049-261-7859、電子メール: emimori@hum.u-bunkyo.ac.jp)

後援: 文京学院大学環境教育研究センター ほか